

# 高松宮賜杯第 62 回全日本軟式野球（C級）大分県大会実施要項

主 催 大分県軟式野球連盟

後 援 大分県体育協会

後 援 大分合同新聞社

1. 期 日 平成 30 年 6 月 16 日（土）、17 日（日）、18 日（月）（雨天順延）
2. 場 所 朝日ヶ丘球場、平野球場、花林かいぞくスタジアム、九重球場
3. 参 加 資 格 (1) 出場チームは、本年 3 月 31 日迄 C 級として登録されたチームとして所属支部の支部長の推薦を受けたチーム。  
(2) 1 チームのメンバーは監督を含め 20 名以内であること。  
(3) 原則として各支部 1 チームとする。  
(4) 大分支部は 4 チーム、鶴崎支部・別府支部は 3 チームの参加ができる。他支部は 1 チームの参加できる。
4. 参 加 申 込 「大分県軟式野球連盟事務局」宛  
TEL 097-532-7133 FAX 097-532-9914  
平成 30 年 6 月 5 日（火）迄に規定の申込書で F A X 電送のこと。  
参加料は各支部へ 15, 000 円納入のこと。
5. 抽 選 会 平成 30 年 3 月 17 日（土）大分県連会議室  
各支部理事長の一括代理抽選を行う。
6. 大会規則 試合当日オーダー交換時、責任者より説明を行う。
7. 九州大会 7 月 28 日（土）福岡県（優勝チーム）  
全国大会 9 月 28 日から 4 日間 新潟県（九州大会で勝利した場合）
8. 支部責任者へ (イ) 予選記録を添付して下さい。  
(ロ) 出場チームには必ずこの要項を渡して下さい。  
(ハ) 本年度登録メ切は 3 月 31 日迄です。早めにお願ひ致します。
9. 使 用 球 ナガセケンコーボール（公認 M 号）
10. そ の 他 (1) 支部長は申込書の確認をし F A X して下さい。  
(2) 県大会を棄権した場合、支部は翌年の出場枠を失うこととなる。  
(3) 各球場ともゴミ類は各自で持って帰ること。  
(4) 各球場とも補助グラウンドがないのでキャッチボール程度に。  
(5) マナーを守りましょう。

大分県軟式野球連盟

会長 佐 保 洋 介

(公印省略)

# 第62回高松宮賜杯軟式野球大会2部(C) 大分県大会 組合せ表

大分県軟式野球連盟事務局 097-532-7133

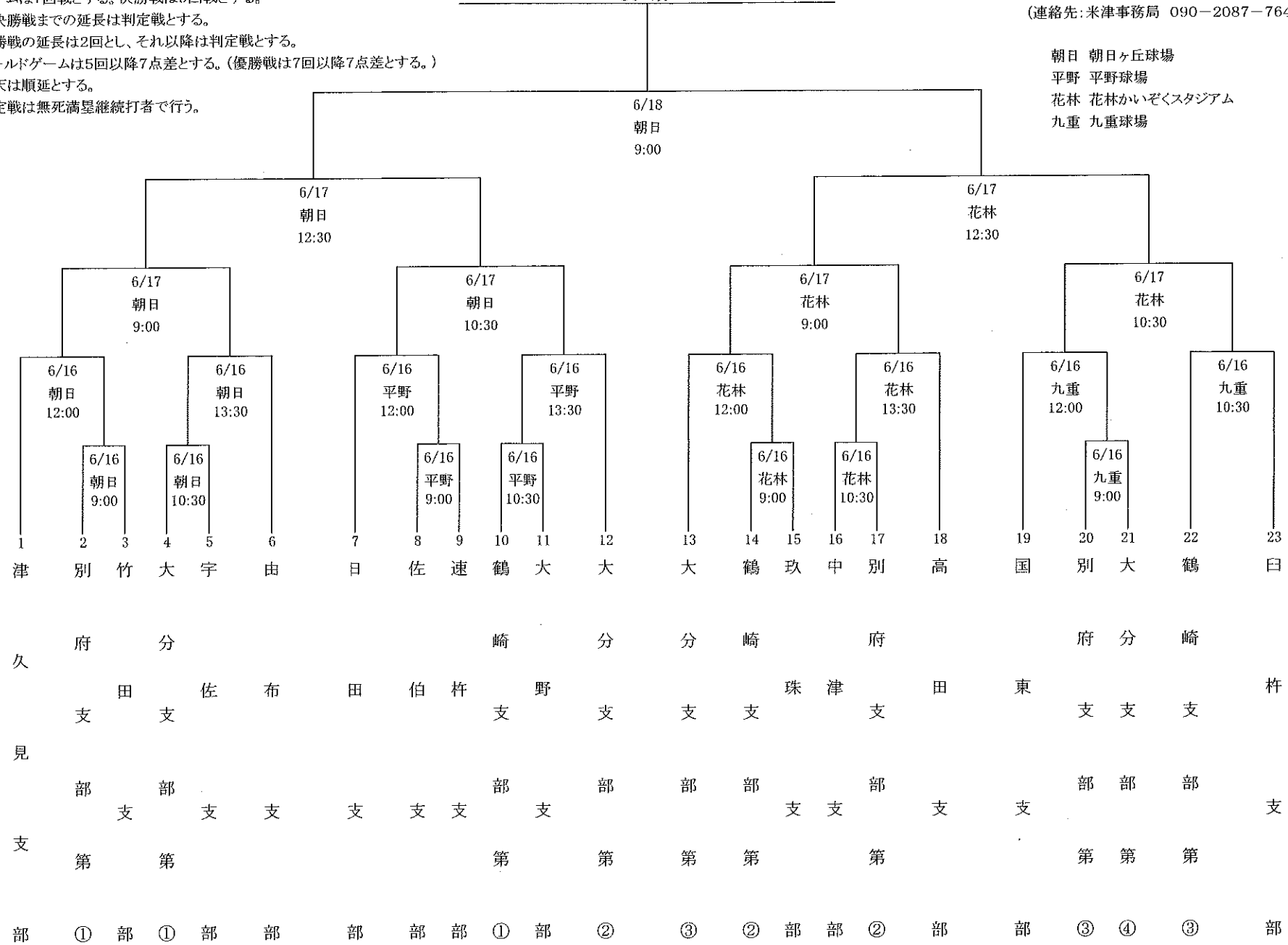
※雨天連絡 AM7時  
(連絡先:米津事務局 090-2087-7644)

朝日 朝日ヶ丘球場  
平野 平野球場  
花林 花林かいぞくスタジアム  
九重 九重球場

大会日程:平成30年6月16日, 17日, 18日(3日間)雨天順延

- 1) ゲームは7回戦とする。決勝戦は9回戦とする。
- 2) 準決勝戦までの延長は判定戦とする。
- 3) 決勝戦の延長は2回とし、それ以降は判定戦とする。
- 4) コールドゲームは5回以降7点差とする。(優勝戦は7回以降7点差とする。)
- 5) 雨天は順延とする。
- 6) 判定戦は無死満塁継続打者で行う。

優勝:



## ★競技運営に関する申し合わせ事項（一般の部）★

県大会は、今年度野球規則及び競技者必携による他、下記の申し合わせ事項により行う。

1. 監督会議での説明または申し合わせ事項は、チーム全員に徹底させること。
2. ダッグアウトは、組合せ表の若い番号を1塁側とする。  
(ただし、ダブルヘッダーの場合、時間の都合で変更することもありうる。)
3. 競技に参加する各チームは、試合開始時刻60分前に球場に参集し、試合開始30分前までに、監督または主将が打順表を本部に提出すること。(必ずユニフォーム着用)  
◎第2試合以降のチームは、前の試合4回終了時にメンバー表4部を提出のこと。  
◎打順表には、登録されている者全員を記入(フルネーム・フリガナ)すること。  
※大勢が整っている時は、試合開始予定時刻前でも試合を開始する。
4. (1) 一般Aクラスの試合について  
○試合は9回戦とする。  
○延長戦は、準決勝戦までは、10回表から特別延長戦を行う。  
○決勝戦は延長戦を3回実施し、決しない場合は13回表から特別延長戦を行う。  
○特別延長戦は無死満塁、打者継続、勝敗の決するまで行う。  
○コールドゲームは、5回以降7点差とする。  
○降雨、日没などで試合を変更する場合は、球場責任者の判断により両チームの監督に伝達する。  
(2) 他のクラスの試合について  
○試合は7回戦とする。  
○延長戦は、準決勝戦までは、8回表から特別延長戦を行う。  
○決勝戦は延長戦を2回実施し、決しない場合は10回表から特別延長戦を行う。  
○特別延長戦、コールドゲームなどについては、上記の一般Aクラスに準ずる。  
○九州成年大会、日本スポーツマスターズ大会は指名打者制を採用する。
5. 試合中は次の行為を禁止する。
  - (1) ベンチ内でのガム、喫煙。喫煙のために試合中にベンチ外に出ることは禁止する。
  - (2) ベンチからの好ましくない野次。
  - (3) プレイヤー、審判員に対する個人攻撃。(目にあまる行為は厳重に処分する。)
  - (4) ベンチ内での携帯電話及び携帯マイクの使用を禁ずる。メガホンは1個に限る。
6. 試合はホームプレートを含んで挨拶のときに、正規のユニフォームを着用した10名以上の選手がいなければならない。
7. 抗議のできる者は、監督または主将と当該プレーヤーのみとする。
8. ランナーズコーチも必ずヘルメットを着用すること。
9. 次打者は、投手が投球姿勢に入ったらず素振りをしてはならない。低い姿勢で待つこと。
10. 試合をスピーディーに行うため、攻守交代は駆け足で行うこと。投手の投球練習は1回目と投手交代時は、7球(1分以内)2回以降は4球以内とする。
11. 攻守交代の最後のボール保持者は、マウンドにボールを置いてベンチに戻ることに。
12. 試合中、選手がスパイクの紐を結び直すため等のタイムは認めない。攻撃中ベンチ内で締め直すように心掛けること。
13. ファウルボールは一塁側、三塁側へ飛んだ方向のベンチ側が処理し、中間は攻撃側チームが処理する。主審へのボール渡しも適時攻撃チームが行うこと。
14. 試合中、内野手の転送球は一廻り以内とし、定位置付近で行うこと。  
(試合状況により制限することもある。)
15. アンフェアな行為、スポーツマンシップに則しない行為は慎むこと。  
(インターフェア、オブストラクションを厳しく適用する。)
16. 試合中はみだりにベンチから出ないこととする。キャッチボールは2組迄とする。
17. 球場内では、練習中でもユニフォーム(統一したもの)を着用すること。
18. 天候状況によりサングラスの着用は認めるが、帽子のツバに乘せることは禁ずる。
19. 捕手は安全のためファウルカップを着用すること。  
なお、投球練習時の捕手は、必ずマスクを着用することとする。
20. 試合終了後のグラウンド整備は必ず両チームで行うこと。ベンチの清掃も行うこと。